



本年度の授業力向上推進部 スタート

命の教育を土台に、「らしさ」を追究する次のフェーズがスタート。研究主題も、

「自分らしさを照らし、学びを飛ばす授業づくり」

～ひょうげんとルーブリックで学びを自分で動かす～

関わらせていただいている子どもたちの一年が、「今」だけではなく、「未来」という長く・広い視野で考えた時に、目標に向けて学びが「飛び出す授業」、そんな研究をみんなで追究していきたいですね。

以下が、授業力向上推進部のメンバーになります。一年間、よろしくお願いします。

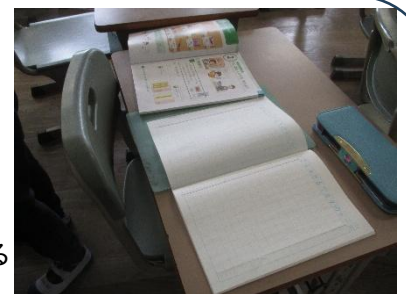
ひょうげん部	探究部

たくさんの先生方が、授業提案にも手を挙げて下さいました。うれしいことです。そして、すごいですよね。手を挙げて下さった先生方だけではなく、「学年のみんなで考えようね」「事前研・事後研、一緒にやろうね」など、学年などチームで取り組もうとして下さっており、感謝の気持ちでいっぱいです。

「ひょうげん部」「探究部」分かれています。相互の関係であり、一緒になって子どもたちという「熱気球」を飛ばす風となればと思っています。これからは、楽しみです。ご協力、ありがとうございます。

てらす・とばす・ひらく

校内を歩いていると、先生方の多くのワザから学ぶことができます。上の写真は2年生の教室。5分休憩でしたが、写真のように教科書とノートを広げて、トイレなどに行っていました。こうして準備して休憩するから、気持ちよく授業がスタートしますね。これが、写真を撮った子だけではなく、学級全員が出来ていることがステキですね。



下の写真は、久保先生の黒板に貼られていたものです。お話を聞いてみると、『見る→きく→気づく→考える』の順番で成長していく。だから、今は『見る』を徹底しているんだと教えて下さいました。また羽場先生と話していると、「今日の授業では、傾聴について子どもたちに話したんだ」と教えて下さいました。

さすがベテランのワザ。新年度、どう子どもたちの学びを深める学級集団に高めていくか悩んでいた私にとって、大きなヒントをもらいました。

